



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

(訂正) 「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年2月9日付で公表しました「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	107,119	6.6	2,885	246.2	1,835	489.3	532	二
27年3月期第3四半期	100,448	10.0	833	△64.8	311	△86.3	△66	二

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 155百万円 (△95.2%) 27年3月期第3四半期 3,223百万円 (△59.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	20.61	20.47
27年3月期第3四半期	△2.59	二

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	145,129	60,729	41.8
27年3月期	147,577	60,849	41.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 60,597百万円 27年3月期 60,737百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	6.00	ー	6.00	12.00
28年3月期	ー	6.00	ー		
28年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,900	3.7	4,200	66.6	2,800	72.6	1,750	426.9	67.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	26,027,720株	27年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	181,442株	27年3月期	203,748株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	25,839,907株	27年3月期3Q	25,824,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、政府による各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。海外においては、アメリカの景気は回復が続いており、アジアでは中国の景気は減速し、消費の伸びが概ね横ばいとなっています。インドの景気は緩やかに回復しているなど世界の景気は、アジア新興国等において弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復しています。

このような環境のなかで、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高107,119百万円(前年同四半期比6.6%増)、営業利益2,885百万円(前年同四半期比246.2%増)、経常利益1,835百万円(前年同四半期比489.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益532百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失66百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費増税以来続く販売不振、軽自動車税引き上げによる国内販売の減速が続いています。一方で円安と原油安が続いていることを背景に、北米市場向けを中心とした輸出は好調を維持しています。当社もこれらの影響を受け受注量は減少傾向にあるものの、主に地金市況の影響により、売上高は47,242百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。収益面においては、主に減価償却費の増加等により、セグメント利益は1,787百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

## ② ダイカスト事業 北米

北米では、過去最高水準となる自動車販売の影響を受け受注が増加し、また、部品の新規立ち上がりや、円安基調にある為替換算、地金市況の影響などもあり、売上高は34,510百万円(前年同四半期比18.8%増)となりました。収益面においては、増収効果に加え生産性改善等の施策によりアメリカ工場が黒字化したこと等により、セグメント利益は875百万円(前年同四半期はセグメント損失1,320百万円)となりました。

## ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーの車種別販売動向等の影響を受け受注は減少しましたが、円安基調にある為替換算影響等により、円貨では売上は微増となりました。インドでは、新規部品の量産開始効果により売上が増加しました。この結果、アジアでの売上高は20,102百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。収益面においては、インド工場における収益改善等の影響や中国における原価低減活動の効果があったものの、中国での受注減少の影響が大きく、セグメント利益は5百万円(前年同四半期比97.4%減)となりました。

## ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量は前年同四半期と比べ若干減少したものの、販売価格が上昇したことにより、売上高は3,805百万円(前年同四半期比1.7%増)となりました。収益面においては、使用原材料価格の下落及び原価低減活動による効果等により、セグメント利益は229百万円(前年同四半期はセグメント損失27百万円)となりました。

## ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は1,459百万円(前年同四半期比12.7%増)となりました。収益面においては、増収及び原価低減活動による効果等により、セグメント利益は59百万円(前年同四半期比244.7%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,447百万円減少して145,129百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少752百万円、棚卸資産の減少537百万円、為替換算影響等による有形固定資産の減少403百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,327百万円減少して84,400百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少1,374百万円、借入金の減少694百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少して60,729百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加202百万円、その他有価証券評価差額金の増加273百万円、為替換算調整勘定の減少715百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末41.2%から41.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成27年11月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,885	6,171
受取手形及び売掛金	24,229	22,665
電子記録債権	1,450	2,261
商品及び製品	4,166	3,975
仕掛品	4,549	4,639
原材料及び貯蔵品	3,887	3,450
その他	4,296	3,156
貸倒引当金	△1	△4
流動資産合計	48,464	46,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,737	16,940
機械装置及び運搬具(純額)	49,570	49,423
土地	5,294	5,283
建設仮勘定	7,591	8,119
その他(純額)	8,939	7,963
有形固定資産合計	88,133	87,729
無形固定資産	1,541	1,628
投資その他の資産		
投資有価証券	7,160	7,567
その他	2,277	1,886
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	9,438	9,453
固定資産合計	99,113	98,811
資産合計	147,577	145,129
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,388	13,124
電子記録債務	6,548	6,437
短期借入金	6,187	6,278
1年内返済予定の長期借入金	11,806	11,121
未払法人税等	777	248
賞与引当金	1,532	1,092
役員賞与引当金	13	—
製品保証引当金	196	128
その他	7,051	7,881
流動負債合計	48,502	46,313
固定負債		
長期借入金	28,845	28,745
退職給付に係る負債	4,816	4,846
その他	4,563	4,495
固定負債合計	38,225	38,086
負債合計	86,728	84,400

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>31,623</u>	<u>31,826</u>
自己株式	<u>△304</u>	<u>△271</u>
株主資本合計	<u>48,438</u>	<u>48,675</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,468	3,742
為替換算調整勘定	<u>9,154</u>	<u>8,438</u>
退職給付に係る調整累計額	<u>△324</u>	<u>△258</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>12,299</u>	<u>11,922</u>
新株予約権	111	131
純資産合計	<u>60,849</u>	<u>60,729</u>
負債純資産合計	<u>147,577</u>	<u>145,129</u>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	100,448	107,119
売上原価	91,973	96,154
売上総利益	8,475	10,965
販売費及び一般管理費	7,641	8,079
営業利益	833	2,885
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	110	135
為替差益	51	—
スクラップ売却益	99	103
その他	139	126
営業外収益合計	414	378
営業外費用		
支払利息	902	970
為替差損	—	413
その他	34	44
営業外費用合計	937	1,429
経常利益	311	1,835
特別利益		
固定資産売却益	7	16
補助金収入	69	59
特別利益合計	77	76
特別損失		
固定資産除売却損	88	85
特別損失合計	88	85
税金等調整前四半期純利益	300	1,826
法人税、住民税及び事業税	813	611
法人税等調整額	<u>△446</u>	<u>682</u>
法人税等合計	<u>367</u>	<u>1,294</u>
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△66</u>	<u>532</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	<u>△66</u>	<u>532</u>

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△66</u>	<u>532</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	273
為替換算調整勘定	<u>2,544</u>	<u>△715</u>
退職給付に係る調整額	62	65
その他の包括利益合計	<u>3,290</u>	<u>△376</u>
四半期包括利益	<u>3,223</u>	<u>155</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>3,223</u>	<u>155</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	46,473	29,058	19,878	3,742	1,295	100,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,105	12	698	2,388	0	6,205
計	49,578	29,071	20,577	6,131	1,295	106,653
セグメント利益又は損失(△)	2,041	△1,320	208	△27	17	919

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	919
セグメント間取引消去	△85
四半期連結損益計算書の営業利益	833

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	47,242	34,510	20,102	3,805	1,459	107,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,188	6	1,203	3,547	0	7,945
計	50,430	34,517	21,305	7,352	1,459	115,064
セグメント利益	1,787	875	5	229	59	2,958

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,958
セグメント間取引消去	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	2,885

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。